



光星初戦敗退

硬式野球

（フールホームスタジアム水戸）
▽1回戦

八学光星

0030040000

0300310000

1x0

中京学院大中京（岐阜） 87

（延長十回、十回からタイブレーク）

（八）渡辺、横山、山田、太山

（中）村田、不後、赤塚、不後、藤田

【評】八学光星は夏の甲子園ベスト4の中京学院大中京と対戦。16安打7得点と持ち前の強打を見せたが、あと一歩及ばず7-8で敗れた。

八学光星は同点の五回に3点を取られ突き放されたが、六回に5安打を集中、4点を奪い逆転した。七回以降、互いに無得

点のまま延長に。タイブレーク制の十回を無得点に抑えられると、その裏、中京の小田に適時打を打たれサヨナラ負けした。

武岡「試合楽しめた」

○：延長十回タイブレークの末、中京学院大京に敗れた八学光星。仲井監督は「持ち味は出せたが、打つだけでは勝てないことを改めて学んだ」と振り返った。厳しい練習を乗り越え戦ってきた選手たちを「3年間で心身共に成長してくれた」とねぎらった。

主将武岡は、バントや走塁のミスが敗因だったと指摘しながら「試合を楽しむことができた。負けたけど悔いはない」と、充実した表情を見せた。

主軸の近藤は、役割をたのは悔しいが、今日の意識しながら打席に向か反省を次のステージに生い2安打3打点。「負けかす」と先を見据えた。